



補習校だより

平成28年度 第19号

平成28年9月17日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

火災避難訓練

先週は火災を想定しての避難訓練を行いました。昨年度は年間予定の3回を“不審者想定”で行いましたので、今回は“火災が起こったときの基本的な避難の仕方”を子ども達が身に付けることができるようになることを目標に実施しました。

火災発生場所は本館のキッチンです。火災が起こったときにまずやるべきことは、

- ①火元の場所を確認すること
- ②火元とは反対の方向へ避難すること

の2つです。避難先を確かめたら全員で避難するのですが、その時の注意点を子ども達に指導しました。

お…おさない

か…かけない

し…しゃべらない

も…もどらない

の4つです。これは日本でも避難訓練の際に指導する事項です。さらに、煙を吸わないようにするためハンカチで鼻と口を覆うなどの指導をすることもあります。ハンカチを持っていなければ、着ているシャツの袖口などで覆うことも効果的ですが、一酸化炭素を除去することはできないので“なるべく低い姿勢で”逃げることを教えました。また、建物の外に出たら慌てずに“一緒に急いで”走ることも教えました。

訓練では高学年の子ども達の落ち着いた行動が見られたものの、クラスでまとまった行動ができていなかったり、おしゃべりしたりふざけていたりという姿もありました。避難訓練は「自分で自分の命を守る」ことができるようになるために実施するものです。“練習で出来ないことは本番になっても決してできない”と、いつも思います。真剣な気持ちで訓練に参加できるような子ども達を育てていきたいものです。

訓練の講評は、在マイアミ総領事館の丹沢領事館の丹沢領事にお願いし子ども達にお話し頂きました。また、運営委員会に対しては、無線機での避難指示の仕方や避難指示を教師同士で共有することなどを注意点として指導して頂きました。さらに、「避難した後の北口扉が開いたままになっていたことは不審者侵入の恐れがある」ことを指摘され、全く抜けていたことに気付きました。次回は細部まで検討して計画します。



【北口の扉から一斉に避難する！】



【シャツの襟口で！】



【領事館の話聞く子ども達】